



# マンデルリング・クアルテット・コンサート

際立つ質の高さと幅広いレパートリーによって、カンヌ・クラシック賞の候補にも挙がっているマンデルリング・クアルテット。世界各国で活躍する実力派弦楽四重奏団が初来日、待望の日本初コンサートを行います。愛知芸術文化センターではこの記念すべきコンサートをより多くの方楽しんでいただくべく、無料コンサートとして開催しますので、皆様のご応募をお待ちしています。

2008年 **9月8日** [月] 18:00 開場 19:00 開演

愛知県芸術劇場コンサートホール (愛知芸術文化センター4階)

## 入場無料

※ 入場は往復ハガキで申し込まれた方のみとなります。  
定員 1,800 名 (応募多数の場合は抽選)  
応募方法については裏面をご覧ください。

### プログラム

シューベルト・弦楽四重奏曲第 13 番 イ短調「ロザムンデ」  
ショスタコーヴィチ・弦楽四重奏曲第 7 番 嬰へ短調  
ドヴォルザーク・弦楽四重奏曲第 12 番 へ長調「アメリカ」

## マンデルリング・クアルテット

セバスチャン・シュミット (ヴァイオリン)、ナネット・シュミット (ヴァイオリン)  
ローラント・グラスル (ヴィオラ)、ベルンハルト・シュミット (チェロ)

今年2008年に結成25年を迎える、現代ドイツ楽壇を代表する実力派弦楽四重奏団。メンバーのセバスチャン、ナネット、ベルンハルトの3人はシュミット家の兄弟姉妹。ミュンヘン(ARD)、エヴィアン、レージョ・エミーリアなど数々のコンクールで入賞。ドイツ国内での公演のほか、アムステルダム、バルセロナ、ブリュッセル、コペンハーゲン、ロンドン、マドリッドなどヨーロッパの主要都市の名だたるホールに出演。また、シカゴ、ロサンゼルス、ニューヨーク、モントリオール、バンクーバー、さらに中央アフリカ、南アフリカ、中東、東南アジアで演奏活動を行う。ラインガウ・フェスティヴァル、シュレスヴィッヒ・ホルシュタイン音楽祭をはじめ、ロッケンハウス、モンペリエ、モントリオール、エンガディネ・コンツェルトヴォッペン、ザルツブルクなどの音楽祭に参加。ハムバッハ音楽祭で企画の芸術監督を務める。また、ドイツ、ベルギー、オランダ、スイスのラジオ局、ラジオ・フランス、BBCに出演、スタジオ収録を行う。CDは、際立つ質の高さと幅広いレパートリーで数回にわたりドイツレコード批評家賞を受賞、カンヌのクラシック賞にノミネートされている。収録曲は、シューベルトの後期の3つの弦楽四重奏曲、フランスの初期ロマン派の作曲家ジョルジュ・オンスローやブラームス、フランクのピアノ五重奏など。近年は、ショスタコーヴィチの弦楽四重奏曲全曲の録音に取り組み、高い評価を得ている。



## 応募方法

往復ハガキに参加者の氏名(2名まで)と応募者の郵便番号、住所、電話番号を記入の上、〒461-8525 愛知県文化情報センター「マンデルリング」係宛に応募してください。(6歳未満のお子様のご入場はご遠慮ください。)

往信

461-8525	(空欄)
愛知県文化情報センター「マンデルリング」係	

返信

(応募者の郵便番号、住所、氏名を記入)	(参加者) 氏名(2名まで)
	(応募者) 〒 住所 電話番号

応募締切 2008年8月11日(月)消印有効

## 関連事業

世界最高の現代音楽クアルテットと新進気鋭のコンテンポラリーダンサーによるコラボレーション公演。ここに実現!  
「アパートメントハウス1776/ジョン・ケージ」=アルディッティ弦楽四重奏団(音楽)×白井剛(ダンス)  
2008年12月3日(水) 18:45開演 / 愛知県芸術劇場コンサートホール (チケット発売:8月15日)

# 愛知芸術文化センター

名古屋市東区東桜1-13-2 (地下鉄「栄」駅下車・オアシス21連絡通路経由3分)

問い合わせ先: 愛知県文化情報センター (Tel. 052-9871-5511)

## マンデルリング四重奏団 25周年

マンデルリング四重奏団は今年、デビュー25周年を迎えます。

メンバーの年齢（1964-1972 生まれ）を考えると、四半世紀という時間に驚かれる方も少なくないでしょう。しかし4人のメンバーのうち3人が兄弟で、幼少期より既に一緒に音楽を奏でていたと聞けば、納得されるのではないのでしょうか。

80年代前半より、ゼバスチャン、ナネッテ、ベルンハルトのシュミット3兄弟はもう一人の女子生徒と一緒に「クアフルスト（選定侯）・ループレヒト・ギムナジウム四重奏団」いう名前で活動を開始、機会があるごとに演奏していました。出演の機会が増えるにつれ、本格的な演奏活動を目指す気持ちが生まれます。目標としたのは、彼らの指導にあっていたバルトルディ四重奏団です。卒業とともに新しい名前が必要になり、1983年、彼らが練習場として使用していたアーモンド（マンデル）の木に囲まれたぶどう園跡にちなんで、「マンデルリング四重奏団」という名前が誕生しました。以来、マンデルリング四重奏団はアメリカ留学の一年を除いて、活動を続けています。創設以来一度だけメンバーの交代があり、10年ほど前からローランド・グラスルが新しいヴィオラ奏者としてマンデルリングのメンバーに加わっています。

活動を始めて5年目に録音したシューベルトの《死と乙女》によって注目を集め、翌年にはハンブルクのエージェント Sudbrack と契約を結びます。それ以降のコンサートで彼らは若くして名前を知られるようになり、一気にレパートリーを増やして輝かしい将来への基礎を固めてゆきます。1991から1994年にかけて出場したコンクール（ミュンヘン ARD 国際音楽コンクール、エヴィアン国際弦楽四重奏コンクール、パオロ・ボロチアーニ国際弦楽四重奏コンクール）での受賞により、マンデルリング四重奏団は大コンサートホールでの演奏会を実現させます。その後、マンデルリングは世界約50ヶ国で公演し、今日では国際的な四重奏団のひとつとなっています。

1997年に彼らを芸術監督として始まったハムバッハ音楽祭においても、マンデルリング四重奏団の音楽的手腕がいかに発揮されており、この国際的音楽祭をあっという間に有名にするとともに、世界中から室内楽ファンを集めるようになりました。

豊富なレパートリー・リストを見ただけでも、アンサンブルの多様性がわかります。音楽市場でも定期的にCDをリリースして存在を主張しており、これまでにベルトルト・ゴルトシュミットやジョルジュ・オンスロウなど一風変わったものからスタンダードなものまで、CD20枚を発表しています。2001年からは発売が audite 社に変わり、ヨハネス・ブラームスの弦楽四重奏3曲が出されていますが、これらはいずれもデッツォフ、ゲルンスハイム、ヘルツォーゲンベルクらブラームスと同時期に活躍した無名の音楽家の四重奏曲を各1曲ずつ組み合わせたものです。また、シューベルトの3大弦楽四重奏曲とその初期の四重奏曲を組み合わせた録音も発売されています。目下、ショスタコーヴィチの全15作にのぼる弦楽四重奏曲に取り組んでおり、すでに3枚のCDが発売されています。

## プレス

息をのむような名人芸と圧倒的な均質性。最高のカルテット演奏だ  
(南ドイツ新聞)

光と熱気に包まれたパフォーマンス  
(ワシントンポスト)

マンデルリング・カルテットの分析の行き届いた透明な音楽解釈と  
頭のきれいなレコーディングチームがまさしく幸福な共生を実現している。  
シューベルトが練り上げた弦楽四重奏の室内楽としての多層性を、マンデルリング  
はいわばアコースティックなループで末端まで拡大して見せてくれる。  
(フォノ・フォーラム)

申し分のないスタイルセンス  
(ニューヨークタイムズ)

とにかく圧倒的だ！そこでは音楽的思考と音楽的語りが見事な出会いを果たしている。  
彼らのシューベルトは信じられないほど現代的で、また内に秘めた情熱を表している。  
(ドイツ放送)

4人の卓越した音楽家による夢のような公演は、熱狂的な拍手喝采の嵐に包まれた。  
(西ドイツ新聞)

彼らのパフォーマンスはまさに模範的だ。完璧な技術、素晴らしい音、作品への確かな理解、そして音色・雰囲気・表現のニュアンス一つ一つにまで鋭敏に反応している。  
(ストリングス)

このカルテットによる2つの作品の演奏はまさにセンセーショナルだ。際立った音の響きと楽器の独立性が、心を揺り動かす融合をみせる。  
(フランクフルター・アルゲマイネ紙)